

未来開拓にむけた技術戦略 ～技術のフロンティアを解説する～

開催趣旨：

「過去は変えられないが、未来は変えられる。」・・・
大阪大学工学研究科の今年度の社会人教育講座では、経済発展、資源・エネルギーの確保、環境の保全の三つの目標が、互いに対立し、せめぎあう現代そして未来を工学技術の援用によって解決できることを各分野の先端的技术の解説を通して伝えます。

2日間で、持続可能な地域社会の形成やそれに資する産業技術のシーズに関し、網羅的に先端的技术課題と技術の具
体の解説を行います。



日時： 平成22年9月30日(木) 第1日 9:00- 交流会 17:00-
10月1日(金) 第2日 9:00-17:00

場所： 大阪大学中之島センター2F会議室
大阪市北区中之島4-3-53
TEL 06-6444-2100

対象： 本テーマに興味を持つ企業の技術者、地方自治体担当者、政府関係者他

受講料：	第1日・第2日	一般料金：30,000円	共催会員料金：20,000円
	第1日目のみ参加	一般料金：20,000円	共催会員料金：15,000円
	第2日目のみ参加	一般料金：20,000円	共催会員料金：15,000円
	学生・両日参加	5,000円	
	学生・各日のみ参加	3,000円	

*いずれもお一人様受講料。交流会費込。税込。



主催：大阪大学大学院工学研究科

共催：大阪大学工業会

運営：合同会社フロンティア・アライアンス ものづくりリエゾンオフィス(MLO)

お申込・お問合せは ものづくり
リエゾンオフィス <http://www.fa-mlo.com/seminar.html>

【大阪大学大学院工学研究科 社会連携室】 <http://www.eng.osaka-u.ac.jp/ja/partnership/index.html>

第1日
9月30日
木曜日
9-17時

01

第2日
10月1日
金曜日
9-17時

02

ソフトパスを実現するシステム技術

■09:15～10:45 1. 社会システムの構造変化のメカニズムとそのマネジメント手法 山口 容平 助教 (環境・エネルギー工学専攻)

『エネルギー供給などの社会的機能を充足するために形成される要素の集合を社会システムとし、社会システムの構造的な変化が生じるメカニズムに関するモデルを紹介する。加えて、それを前提とする技術導入手法、社会システム転換支援策立案手法を議論する。』

■11:00～12:30 2. 琵琶湖・淀川水系統合的評価モデル 近藤 明准教授 (環境・エネルギー工学専攻)

『琵琶湖・淀川流域を対象に、気象・水文統合モデルを開発し、モデルから得られる風速、降雨、水量データを利用して有害化学物質のマルチメディアモデルを開発している。これらのモデル説明と応用事例について解説する。』

ベストミックスを実現する統合的技術

■13:30～15:00 3. 大阪大学サステナビリティサイエンスシーズマップについて 下田 吉之教授 (環境・エネルギー工学専攻)

『大阪大学サステナビリティデザインセンター(10月より環境イノベーションデザインセンター)で作成している標記シーズマップの概要と、大阪大学の環境研究のシーズを低炭素社会・持続可能社会の形成に役立てるための課題について述べる。』

低炭素環境適合材料

■15:15～16:45 4. 更新性資源を利用したバイオプラスチックの現状と課題 宇山 浩教授 (応用化学専攻)

『更新性資源を出発原料とするバイオプラスチックが注目されている。低炭素社会に貢献するカーボンニュートラルの製品設計を通してバイオプラスチックの現状を概説し、続いて、技術開発動向と応用分野について紹介する。』

■17:00～ 交流会

次世代の基幹技術

■09:15～10:45 5. 新しい電気エネルギー流通システムと地域の役割 伊瀬 敏史教授 (電気電子情報工学専攻)

『本講演では、マイクログリッドなどの分散形電源による地域電力供給システムの形態とその実証試験について述べ、特に直流によるシステムの優位性を述べる。また、マイクログリッドの発展形としてのスマートグリッドと将来の電力システムに対する地域の役割について触れる。』

■11:00～12:30 6. サプライチェーンを環境適合にするリスク評価・管理技術 東海 明宏教授 (環境・エネルギー工学専攻)

『マルチプルリスク社会のガバナンスには、リスクをできるだけ低減させながら管理可能とすることが求められる。政府の規制、企業の自主的管理の支援に導入されつつあるリスク評価技法の考え方と事例について解説する。』

■13:30～15:00 7. 資源制約を克服：リサイクルをビルトインした生産システムのデザイン・・・ライフサイクル設計 梅田 靖教授 (機械工学専攻)

『低炭素社会と循環型社会の両立に向けて、大量生産・大量廃棄からの脱却が製造業に課せられた課題である。このためには、製品のライフサイクル全体の設計、評価、管理が必要となる。そのための方法論を事例を交えて紹介する。』

■15:15～16:45 8. 環境と福祉の統合的交通システムのあり方 新田 保次 教授 (地球総合工学専攻)

『交通システムは元来、利便性の拡大を通じて福祉の増進を図る狙いを持っている。しかし、それはエネルギー、とりわけ化石燃料の多消費につながり、高炭素化を促した。本講では福祉増進と低炭素化を両立させる交通システムのあり方について考える。』

参加申込み：右記URLよりお申込みください → <http://www.fa-mlo.com/seminar.html>
お問合せ先：ものづくりリエゾンオフィス [TEL] 06-6878-5628 [E-mail] liaison@fa-mlo.com